

応用物理学会功労会員随想

出会いと学びの場への感謝を未来につなげて

重川 秀実

この度は、本会功労会員にご推挙いただき、誠に光栄に存じます。長年にわたりご指導・ご支援くださった皆様に、心より感謝申し上げます。

応用物理学会には、大学院時代に兵藤申一先生の下で表面物性の研究を始めて以来、今日に至るまで、大変お世話になって参りました。研究発表や活発な討論を通じて多くの刺激を受

けるとともに、学会活動を通じて得た出会いは、何ものにも代えがたい貴重な財産です。

筑波大学に赴任してからは、グループの研究成果を紹介するだけでなく、さまざまな分野から多くを学ぶ貴重な機会として、本学会の講演会やシンポジウムを活用させていただきました。若手による発表や議論の場を通じて、研究

と教育の両面で多くの希望と刺激を受けて参りました。

また、機関誌『応用物理』の編集委員長および担当理事として学会運営に携わるとともに、薄膜・表面物理分科会では幹事・幹事長を務め、分科会活動の企画・推進にも関わる機会をいただきました。さらに、走査型プローブ顕微鏡（SPM）関連の国際シンポジ

ウムでは組織委員長を務めるなど、国内外の研究者との交流や若手の育成に取り組む機会にも恵まれました。こうした活動を通じて、志を共にする仲間と議論を交わし、楽しい時間を共有できたことは、私にとって研究人生の大きな喜びです。

応用物理学会は、学際的なつながり

を深めながら、未来を担う研究者がいきいきと活躍できる場として極めて重要な役割を担っています。近年のAIの飛躍的な展開も背景に加わり、その存在意義は一層増しています。今後のさらなる発展を、心よりお祈り申し上げます。

（2025年8月6日受付；2025年8月8日受理）



（略歴）

1980年東京大学工学系大学院物理学専攻博士課程中退。工学博士。80年～同大物理工学科助手。88年～筑波大学ヘル研究所訪問研究員。東京大学工学系研究科化学生命専攻助教授。東北大学（WPI-AIMR）併任など。受賞：表面科学学会賞、島津賞、文部科学大臣表彰、紫綬褒章など。